

8-inch LCD TV

XVT-M020 8インチ液晶テレビ

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。この 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使 用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読 みください。この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見 ることができるところに必ず保存してください。

製品色番表示についてのご注意

本製品には、白、黒、赤の3色がラインアップされています。 取扱説明書・保証書には、色番の表示が省略してあります。 個装箱表示の()内が色番です。

製品の特長

- テレビ放送番組やビデオ・DVDソフトを、キッチンカウンターやベッドの上など家中どこでも持ち運んで 手軽に見ることができる、AVデジタルワイヤレス伝送システム内蔵。
- 美しく鮮やかな映像を楽しめるTFTアクティブマトリクス方式の液晶ディスプレイモニターを採用。高画 質・高コントラストの映像表示を実現。

● 鮮明な画像を見ることができる広視野角パネル採用。

● 小型ステレオスピーカーを搭載。音声多重放送にも対応。



もくじ

はじめに

安全に正しくお使いいただくために ・・・・・・6
同梱品
各部の名称(テレビ本体)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
各部の名称(送信機)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
各部の名称(リモコン)・・・・・19
基本的な操作方法20

準備

リモコンの準備と使いかた22
アンテナケーブルを接続する
(VHF/UHFアンテナと接続する)・・・・・・・23
電源の接続について
送信機からの電波の受信状態を確認する26
通信距離を設定する27
自動でチャンネルを設定する
1局ずつチャンネルを選んで個別に設定する・・・・・・30

調整と設定

外部機器の接続

いろいろな使いかた ・・・・・44
外部機器とビデオコントローラの接続方法46
外部機器の再生映像などを見る47
ゲーム機などの外部機器をテレビ本体に
直接つないで見る

その他

お除わたりと思ったら FO
メンテナンスについて
保証とアフターサービス・・・・・・54
お客様ご相談窓口のご案内
主な仕様

English

はじめに

正しくお使いいただくためにお読みください。 この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に、 必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために ・・・・・・・・・・6
同梱品 ・・・・・・14
各部の名称(テレビ本体)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
各部の名称(送信機) ・・・・・18
各部の名称(リモコン) ・・・・・・・・・・・・・・19
基本的な操作方法20

安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前に必ず「安全に正しくお使いいただくために」をお読みください。







▲ 警告

内部に水や異物が入ったときは、テレビの電源を切り、電 源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。タカラ**±0** AV修理・技術センター(55ページ)にご連絡ください。





電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、ひっぱ ったり、無理に曲げたり、加熱しない

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼く ださい。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感 電の原因となります。



テレビや送信機の上やわきに花瓶等、水の入った容器を置かない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。





不安定な場所に置かない・カーテンのそばに置かない 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



異物を入れない

通風孔(裏ぶたのすき間)などから物を入れると、火災・感 電の原因となります。とくに、お子様にはご注意ください。





テレビや送信機の裏ぶたを外したり、改造しない 内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因 となります。内部の点検、修理はタカラ±0 AV修理・技術 センター(55ページ)にご依頼ください。





風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電の原因となります。





雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない 感電の原因となります。



電源プラグの刃や刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く そのまま使用すると火災・感電の原因となります。





⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることが あります。





ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。





アンテナ工事は技術経験が必要ですので電気工事店にご 相談ください

送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際 に感電の原因となることがあります。



風通しの悪い所に入れない・じゅうたんや布団の上に置か ない・布などをかけない

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となるこ とがあります。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災・ 感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。





電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがありま す。



埜止





タコ足配線をしない 火災・感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たる所に置かない

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因 となることがあります。



重いものを置いたり、上に乗ったりしない 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。とく にお子様にはご注意ください。





⚠注意

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店に 交換の依頼をしてください。





お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを 抜く

感電や火災の原因となることがあります。





液晶画面に衝撃をあたえない

液晶画面を強くおさえないでください。また、落としたり 強い衝撃をあたえないようにしてください。





テレビ本体の後部キャップをつかんでの持ち運びは避ける

衝撃でキャップが外れる場合があり、本体が落下する危険 があります。





テレビ本体の天地を正しく置く

テレビ本体の電源をオンにすると熱くなることがあります。 故障ではありませんが、熱がこもらないように、必ずテレビ本体の天地が正しくなるように置いてご使用くだ さい。





移動するときは、接続されている線などをすべて外す

接続線を外さずに移動すると、電源コードが傷つき火災・ 感電の原因となることがあります。





3年に1度をめやすに、内部の掃除をする

内部にほこりをためたまま使用すると、火災や故障の原因 となることがあります。掃除方法については、タカラ**±0** AV修理・技術センター(55ページ)にご相談ください。





リモコンの電池を入れるときは極性表示(プラスとマイナ ス)の向きに注意する

液漏れや破裂により、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。





ボタン電池を子どもが飲みこまないように注意する

ボタン電池は、小さいお子さまが誤って飲み込むおそれが あります。電池は幼児の手の届かないところに保管してく ださい。万一、飲み込んでしまった場合は、ただちに医師 の指示を受けてください。





守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れ方法

- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、 ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにし ないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の 作用により、変質したり、塗料がはげるなどの原因とな ります。



- よごれはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- よごれがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした 布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

電源・電圧について

指定以外の電源は使わないでください。
 指定以外の電源を使用した場合は故障の原因となります。
 使用電源アダプターは、必ず専用品をお使いください。

取り扱い上でのご注意

 液晶パネルを強くおさえないように、また、落としたり 強い衝撃をあたえないようにしてください。とくに液晶 パネルが割れることがあり危険です。振動の激しい所や 不安定な所に置かないでください。また、絶対に落とし たりしないでください。故障の原因となります。

持ち運びのとき

 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所 で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあ ります。

アンテナについて

妨害電波の影響を避けるため、交通量の多い自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
 万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐため

カーアンテナが倒れに場合の感電事故などを防ぐにの にも有効です。

- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換 することを心がけてください。美しい映像でご覧にな れます。とくにばい煙の多いところや潮風にさらされる ところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪 くなったときは、タカラ±0 AV修理・技術センター (55ページ)にご相談ください。

設置について

- 発熱する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の上にはものを置かないでください。



 カーテンなどのそばに本機を置かないでください。風で カーテンがゆれて本機が倒れたり、落下することがあり ます。

電磁波妨害に注意してください

 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁 波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像 が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

守っていただきたいこと

直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる 場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障 の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご



急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてくだ さい

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。



 また、寒いところから暖かい室内に持ちこむと、露つき が発生します。露つきがなくなるまで待ってから電源を 入れてください。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。



雨天・降雪中でのご使用の場合

 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさない ようにご注意ください。



ステッカーやテープなどを貼らないでください

• キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。



長期間ご使用にならないとき

長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

 この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では 放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



守っていただきたいこと

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで は使用しない

電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、 火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など

病院等、使用を禁止された場所では使用しない

 電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因 となる恐れがあります。
 各機関の指示にしたがってください。

- 本機は、盗聴防止スクランブル機能を搭載していますが、 傍受にご注意ください
- 本機は電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受 するケースも考えられます。
 機密を有する重要な通信や、人命に関わる通信には使用

成出で有する重要な通信で、大町に関わる通信には使用 しないでください。

* 傍受(ぼうじゅ)とは、無線通信の内容を第三者が別の 受信機で故意または偶然に使用することです。

損害について

 お客さま、または第三者使用による本機の誤った使用、 使用中に生じた故障、その他の不具合、本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

電波に関するご注意

本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本機 を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本機は、日本国内でのみ使用することができます。

■ 次の場所では、本機を使用しないでください。ノイズが出たり、送受信ができなくなる場合があります。

- 本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、および、電子レンジ等の機器の磁場、 静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります)
- ラジオから離してお使いください。(ノイズが乗る場合があります)
- 本機は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
- 分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
 ①「2.4」: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。



③「4」:想定される与干渉距離を表します。(約40m)



④「■ ■ ■」:全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- ■本機の使用周波数帯域では、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、また電子 レンジ等の機器の他、工場、製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する)および特定小電力無線 局が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波障害の事例が発生した場合、速やかにその場での本機の使用を中断してください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、タカラ±0 AV修理・技術センター(55ページ)までお問い合わせください。

使用範囲について

■ ご家庭内でのご使用に限ります。

(通信の環境により伝送距離が短くなることがあります)

- 次のような場合は、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなることで映像・音声が途切れたり(映像・音声が停止する)、 ブロック状のノイズが出ます。
- マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅など。
- 大型の金属製家具の近くなど。
- 人混みの中や、建物、障害物の近くなど。
- 本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、および、電子レンジ等の機器の磁場、 静電気、電波障害が発生するところ。

■ 電波の反射について

 テレビ受信機に届く電波には、送信機から直接届く電波(直接波)と、壁や家具、建物などに反射して、さまざまな方向から届く 電波(反射波)があります。この反射波の影響で電波状態の良い位置と悪い位置が生じ、映像がうまく受信できなくなることがあ ります。このようなときは、テレビ受信機の場所を少し動かしてみてください。送信機とテレビ受信機間を人が横切ったり、近づ いたりすることによっても、反射波の影響で映像・音声が乱れたり、途切れたりすることがあります。

同梱品

● 本製品の同梱品の内容は次のとおりです。

梱包には万全を期していますが、万一、お買い上げの際に、次のものが同梱されていない場合、および、不良品、破損品等がございましたら、タカラ**±0** AV修理・技術センター (55ページ)までご連絡ください。





テレビ本体

(使用方法 …… 16ページ)

送信機 (使用方法 … 18ページ)



テレビ本体用ACアダプター(1セット) (使用方法 …… 24ページ) ACコード (1.8m) (2m)

アンテナケーブル(75Ω同軸ケーブル、1本) (使用方法 …… 23ページ)



ビデオコントローラ (1個) (使用方法 …… 46ページ)



送信機用ACアダプター(1個) (使用方法 …… 24ページ)



ご注意 ——

テレビ本体用ACアダプターと送信機用ACアダプターはそれぞれ専 用に設計されています。入れ替えて使用することはできませんので、 接続のときは、間違えないよう、ご注意ください。

各部の名称 (テレビ本体)



※ リモコンの電源ボタンは、テレビ本体の電源ボタンをオンにした状態で操作してください。







※ 🚾 内の数字は、本書で説明している主なページです。

ご注意 _____

後部キャップは、出荷時にはテレビ本体に取り付けられています。電源ケーブルを接続する前に取り外してください。取り外し、取り付け 方は「後部キャップの取り外し、取り付けかた」(25ページ)を参照ください。

各部の名称(送信機)

■ 前面



■ 背面



各部の名称(リモコン)

リモコン



※ 🚾 内の数字は、本書で説明している主なページです。

リモコンおよびテレビ本体の電源ボタンでは、送信機の電源のオン/オフはできません。 リモコンの電源ボタンは、テレビ本体の電源ボタンをオンにした状態で操作してください。 入力切替ボタン、選局ボタン、音量ボタン、電源ボタンは、テレビ本体でも操作できます。

※ この取扱説明書では、主にリモコンを使った操作方法で説明しています。

基本的な操作方法



有線テレビ(CATV)について

● CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。

● CATVを受信するときは使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。くわしくは、CATV会社にご相談ください。

● 本機のCATVチャンネルは、C13~C38チャンネルの範囲で選局できます。

準 備 ご使用前の準備から、チャンネル設定をレテレビ放送を 受信するまでを説明します。

リモコンの準備と使いかた ・・・・・22
アンテナケーブルを接続する
(VHF/UHFアンテナと接続する)・・・・・・・・23
電源の接続について24
送信機からの電波の受信状態を確認する26
通信距離を設定する27
自動でチャンネルを設定する
1局ずつチャンネルを選んで個別に設定する30

Ш

準備

リモコンの準備と使いかた

ボタン電池の入れかた



ホルダーを引き出す リモコンを裏返し、ボタン電池ホルダーを引き 出してください。





ボタン電池を入れる 「付属のボタン電池CB2025 1個]



+ の表示を上にしてボタン電池をセットします。



ホルダーを元の位置に差しこむ



- リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作 してください。
- リモコンには衝撃を与えないでください。
 また、水にぬらしたり温度の高いところには置かないでください。
- リモコンは直射日光のあたる場所に取り付けたり、放置しないでください。

熱により変形することがあります。

- テレビ本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が 当たっているとリモコン動作がしにくくなります。照明 またはテレビ本体の向きを変えるか、リモコン受光部 に近づけて操作してください。
- リモコンを操作してもテレビ本体が動作しなくなったら
 交換時期です。新しいボタン電池と交換してください。

▲ 注意 ボタン電池使用上のご注意

ボタン電池は誤った使いかたをすると液漏れや破裂するこ

- とがありますので、次の点についてとくにご注意ください。
- ボタン電池のプラス+とマイナスーを、表示のとおり正しく入れてください。
- ボタン電池が使えなくなったら、液が漏れて故障の原因 となる恐れがありますのですぐ取り出してください。
- また、漏れた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 幼児の手の届かない所へ保管してください。ボタンを 誤って飲み込むと危険です。
- 万一、飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の指示 を受けてください。

ご参考 _____

- ・付属のボタン電池は、保存状態により短時間で消耗する ことがありますので、早めに新しいボタン電池と交換して ください。
- 長時間使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り
 出しておいてください。

アンテナケーブルを接続する(VHF/UHFアンテナと接続する)

● アンテナケーブルは、壁のアンテナ端子に合わせて、付属のアンテナケーブル、またはアンテナ整合器(別売品)などを接続します。 アンテナケーブルの反対側は送信機の外部アンテナ入力端子に接続してください。



ご参考 =

・付属のアンテナケーブル(75Ω同軸ケーブル)以外は別売品です。

- ・VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取り付けが必要なときは、タカラ±**0** AV修理・技術センター(55ページ) にご相談ください。
- ・BS・CS衛星放送、BSデジタル衛星放送、地上波デジタル放送をご覧になる場合には、専用のチューナーが必要です。

電源の接続について

● テレビ本体用ACアダプター、送信機用ACアダプター

専用アダプターをそれぞれの電源入力端子に差しこむときは、送信機用、テレビ本体用のそれぞれの組み合わせ が合っていることを確かめてください。

■ テレビ本体部



- テレビ本体用ACアダプターは、後部キャップが取り付けられた状態ではテレビ本体の電源入力端子に接続することができません。後部キャップの取り外し、取り付けかたは、25ページを参照してください。
- テレビ本体の電源をオンにすると熱くなることがありますが、故障ではありません。

■ 送信機部



• ACアダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。

▲注意 =

・ACアダプターを布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障や事故の原因となります。

分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の危険があります。

・ACアダプターを布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障や事故の原因となります。

・分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の危険があります。

● 後部キャップの取り外し、取り付けかた

1

後部キャップを反時計回りに回して取り外す



ご注意 🚃

後部キャップがテレビ本体に取り付けてあると、ケーブ ルを接続することができません。

後部キャップに通したケーブルを本体に接続する (17ページ参照)









5

3

後部キャップをテレビ本体背面の接続部に取り 付ける

後部キャップを時計回りに回し、「カチッ」という

※後部キャップは、±0のロゴマークが上にくる

・後部キャップを外したままで使用しないでください。

音がするまで締める

ご注意 ----

ように取り付けてください。





送信機からの電波の受信状態を確認する

● 送信機から発せられる電波の状態をテレビ本体で確認 1 (~)を押し、メインメニュー画面を表示する することができます。 電波がきちんと届いているかどうかや電波の強弱を 2 (-)*(+)で[6 モニタ設定」を選び、(**)を押す 確認します。 リモコン メイン メニュー
 1 映像調整4通信距離

 2 音声切替5CH設定

 3 タイマー(6 モニタ設定)
 電源 メニュー 終了 + U P 決定 選択 – DOWI 入力 Q CATV ミュート 切替 DOWN 2 1 3 チャンネ 3 (-)ミモ(+)で「受信 状況表示」を選び、(**)を押す 4 5 6 ル モニタ 設 定 +8 7 9 ビデオ3 設定 メニュー 戻る ビデオ3 設 定 + 受信 状況表示 – UΡ 音 ∠量、 DOWN モニタ リセット 決定 選択 10/0 12 11 _ 設定 🕂 決定 <u> Х</u>__ テレビ画面には、次のように表示されます。 • 圏外: 電波が映像を表示する強さに達して ±0 (赤色)いないときに表示されます。 <画面:圏外> 設定にはこのボタンを使用します。 圈外 •受信中:受信している電波が弱いときに表示 (黄色)されます。 <画面: 電波弱> 受信中 •受信中:受信している電波が強いときに表示 (緑色)されます。 <画面:電波強> 受信中

4

(→)を3度押して終了する

※ (空)を1度押すたびに前画面に戻ります。

通信距離を設定する

本製品は、無線を使用して映像を送りますので、受信 状態は送信機とテレビ本体の距離の影響を受けます。 送信機とテレビ本体の間に、なるべく障害物がない状 態で設置した後、通信距離に応じて「遠い」「標準」「近 い」の中から設定してください。

リモコン



設定にはこのボタンを使用します。



- 遠い:送信機とテレビ本体の距離が遠くなる につれて、無線の電波が弱くなり受信 状態が不安定になることがありますの で、その場合は、この設定を選んでくだ さい。
- •標準:ふだんは、この設定でお使いください。
- 近い:送信機とテレビ本体の距離が近いとき に選ぶと、「標準」より良い画質で見るこ とができます。

(4)

←を2度押して終了する

※ 全 を 1 度押すたびに前画面に戻ります。

自動でチャンネルを設定する

- ●オートブリセット(設定)を実行するだけで、使用する地域で受信 できるVHFとUHFの放送電波(チャンネル)を自動的にキャッチ し、記憶させることができます。
- ●オートプリセット(設定)機能で記憶できるチャンネルは、最大12
 局です。

ご注意 —

地域により設定できるチャンネル数は異なります。

● 受信可能なチャンネルを自動的に記憶する



設定にはこのボタンを使用します。

ご参考 _____

テレビモード以外で「オートプリセット」を選択すると、テレビモードに 切り替わります。



(~~)を押し、メインメニュー画面を表示

1

1 CH設定 メニュー 戻る (オートプリセット) $^+$ UΡ DOWN マニュアルプリセット 決 定 選択



チャンネルの自動設定が実行される ▼自動設定中

] サーチ
C H 設 定 メニュー	戻る
オートプリセット +	UΡ
ー マニュアルプリセット 決定	DOWN 選 択

▼自動設定完了

	1
C H 設 定 メニュー	戻る
オートプリセット +	UΡ
ー マニュアルプリセット 決定	DOWN 選 択



├──を2度押して終了する

※ - を1度押すたびに前画面に戻り ます。

6

自動設定完了後、またはダイレクト

選局ボタンを押してチャンネルを選ぶ

ご参考 🗕

- 1~62チャンネルまで、周波数の低い局から順番に記憶します。
- テレビの電源スイッチをオフにしても設定されたチャンネルは記憶されています。
- 「オートプリセット」が完了すると、前に記憶されていたチャンネルが すべて消えます。
- 一度記憶した後、再び「オートプリセット」を実行し、記憶し直した ときは、電波の弱いチャンネルが記憶されたり、されなかったりす る場合があります。

これは、電波状態などの変化によるもので、故障ではありません。

- 「オートプリセット」で、放送局以外の電波が記憶されることがあります。その場合は画面がノイズ状態で現れますが、故障ではありません。
- 「オートプリセット」実行中にキャンセルするときは、テレビ本体と
 送信機の電源を「オフ」にしてください。

1局ずつチャンネルを選んで個別に設定する

- テレビの受信チャンネルを変更したいときや、チャンネルの順番 を変えたいときに、チャンネルを合わせ直すことができます。
- ふだん、よくご使用される受信エリアで、チャンネルの順番を新 聞の番組表などに合わせておくと便利です。

- テレビの電源スイッチをオフにしても設定されたチャンネルは記憶されています。
- テレビモード以外で「CH設定」を選択すると、テレビモードに切り替わります。
- [例] チャンネル「7」にUHF放送「42」チャンネルを設定する場合



メイン メニュー]映像調整 4.通信距離
 2 音声切替
 5 C H 設定

 3 タイマー
 6 モニタ設定
 メニュー 終了 + UΡ 選択 - DOWN 決定



2







本機のいろいろな機能の調整と設定について説明します

調整と設定

メニュー画面について32
指定時間後に電源が入るよう設定する
(ONタイマー)・・・・・34
指定時間後に電源が切れるよう設定する
(OFFタイマー) ······35
音声モードを切り替える(二重音声/ステレオ放送)・・・・36
外部機器の映像・音声を楽しむ ・・・・・・・・・・・37
テレビ本体のビデオ入力3端子を使う ・・・・・・38
映像を調整する ・・・・・39
音量を調節する/ヘッドホンで楽しむ ・・・・・・41
テレビ本体の設定をリセットする ・・・・・・・・・42

メニュー画面について

- 画質の調整や表示内容の設定は、画面に表示された調整項目や値を見ながら、リモコンのボタンで操作します。
- メニューボタンを押すと、メニューが画面に表示されます。メニューから調整する項目や設定したい内容を選んでください。操作方法や選択方法については、各項目の説明ページをご覧ください。



- •ブライトネス(39ページ)
- •コントラスト(39ページ)
- ・色あい(39ページ)
- 色の濃さ(39ページ)
- ・シャープネス(39ページ)
- モノラル(36ページ)
 ステレオ(36ページ)
- 主/副音声(36ページ)
- •主音声(36ページ)
- •副音声(36ページ)

• OFFタイマー(35ページ)

ご注意 ——

- メニュー画面や各調整画面でメニューボタンを押すと、元 の画面に戻ります。
- •通信状態によっては操作ができない場合があります。 その場合は、テレビ本体の設置場所を変えるなどして、メ ニュー画面が正常に映る状態にしてから調整や設定をし てください。

リモコン



メニュー 戻る

UΡ

選択

DOWN

+

通 信 距 離 遠い	×=ュ-	戻る
標準	-	DOWN
<u>, 1</u> 0.	決定	選択

遠い(27ページ)

通信距離

•標準(27ページ)

・近い(27ページ)

•オートプリセット(28ページ)

-マニュアルプリセット 決 定

オートブリセット

•マニュアルプリセット(30ページ)

 ビデオ3設定(38ページ) •受信状況表示(26ページ)

受信 状況表示

モニタ リセット

ビデオ3 設 定 メニュー 戻 る

+

決 定

_

UΡ

選択

DOWN

•モニタリセット(42ページ)

指定時間後に電源が入るよう設定する(ONタイマー)

● 見たい番組が始まるまで電源をオフにしておくなど、指定した時間後にテレビの電源をオンにする機能です。

リモコン



設定にはこのボタンを使用します。

〔例〕360分(6時間)後に電源をオンにする場合



ご参考 —

ONタイマーが設定されていると、テレビ本体の電源ランプが点滅します。

指定時間後に電源が切れるよう設定する (OFFタイマー)



ご参考 🗕

- OFFタイマー設定中に残り時間を確認するときは、手順1~3を行ってください。
- OFFタイマーの残り時間は、手順3で確認できます。

調

整と設

定

音声モードを切り替える (二重音声/ステレオ放送)

- 二重音声放送やステレオ放送を受信しているとき、音 声切替メニューで音声モードを替えることができます。
- 二重音声放送やステレオ放送を受信すると、チャンネル表示の下に「ステレオ」、「主音声」などの音声モードが表示されます。



2) (-)===) ボタンで「2 音声切替」を選び、(==)を 押す。

音声切替メニューが表示されます。

(
音声切替		
T /= II	メニュー	戻る
モノフル ステレオ 主/副 音声 主 音声	+	UΡ
	_	DOWN
副百円	決 定	選 択

〔二重音声放送のとき〕

音声モードは次のように切り替わります。



〔ステレオ放送のとき〕

音声モードは次のように切り替わります。 雑音が多くて聞きづらいときは、「モノラル」にす ると聞きやすくなることがあります。



〔音声モードを確かめるには〕

次のいずれかの操作を行うと、チャンネル表示 とともに、音声モードが5秒間表示されます。

- 今見ているチャンネルボタンを押す。
- いったん別のチャンネルに切り換えてから元の チャンネルに戻す。
- •電源をいったん切ってから、入れ直す。

設定終了後、 🗁 を2度押して終了する

3

※ ~ を1度押すたびに前画面に戻ります。

リモコン



設定にはこのボタンを使用します。

外部機器の映像・音声を楽しむ



- テレビ本体の天面、およびリモコンの入力切替ボタンを押すと、次のようにモードが切り替わります。(工場出荷状態)
 - ▼ 画面表示



ご参考 ――

リモコンの入力切替ボタンでのモード切替ができるのは、ビデオ入力1モードとビデオ入力2モードです。

テレビ本体のビデオ入力3端子を使う

● 液晶テレビ本体は、ふだんは「ワイヤレステレビ」として 使いますが、お手持ちの機器からAVケーブルを直接、 テレビ本体の背面ビデオ入力3端子に接続して使うこ ともできます。

とくに、ゲーム機を接続するときは、送信機に接続し て使用するとリアルタイムの映像表示ができないので、 ゲーム機を快適に楽しむことができません。ゲーム機 の接続方法は、「ゲーム機などの外部機器をテレビ本体 に直接つないで見る」(48ページ)を参照してください。 ビデオ入力3端子を使うときは、入力切替ボタンは使 用しません。

リモコン



設定にはこのボタンを使用します。

1 (~)を押し、メインメニュー画面を表示する 2 (-) ミモキ) で「6 モニタ設定」を選び、(ミモ)を押す メイン メニュー] 映 像 調 整 4 通 信 距 離 2 音 声 切 替 <u>5 C H 設</u> 定 3 タイマー 6 モニタ設定) メニュー 終了 + U P 決定 選択 – DOWI DOWN 3 (-) ミモキ) で「ビデオ3 設定」を選び、 (**)を押す モニタ 設 定 ビデオ3 設定 メニュー 戻る + UΡ 受信 状況表示 DOWN _ モニタ リセット 決 定 選択 4 (-)┉+)で「ビデオ3」を選ぶ ビデオ3設定 [テレビ] ([ビデオ3]) メニュー 決定 戻る — 選択 — テレビ ビデオ3 5 (**)を押して終了する

映像を調整する

● 映像調整では、「ブライトネス(明るさ)」「コントラスト」 「色あい」「色の濃さ」「シャープネス」の5項目を調整で きます。調整した映像は、そのまま記憶されます。

〔例〕ビデオ入力2モードで色あいを調整する場合

1

2

3

(協)を押し、ビデオ入力2モードを選ぶ 画面右上に「ビデオ2」と表示されます。

(~)を押し、メインメニュー画面を表示する

(-)**(+)で[1 映像調整」を選び、(**)を押す

1 映像調整 4 通信距離

 2 音声切替
 5 C H 設定

 3 タイマー
 6 モニタ設定

DOWN

メニュー 終了 + U P 決定 選択 - DOW

メイン メニュー

ビデオ2



設定にはこのボタンを使用します。

39



音量を調節する/ヘッドホンで楽しむ

スピーカー/ヘッドホンから出力される音量を調節できます。また、電話がかかってきたときなどに、音声を一時的に消すことができます

音量を調節する

テレビ本体の設定をリセットする

●テレビ本体に設定されている各種メニューを 1 ← を押し、メインメニュー画面を表示する リセットし、工場出荷時の状態に戻します。 2 (-)ミモ+)で「6 モニタ設定」を選び、(ミンを押す) リモコン 電源 メイン メニュー
 1 映像調整4通信距離

 2 音声切替5CH設定

 3 タイマー(6 モニタ設定)
 入力 切替 ወ CATV ミュート メニュー 終了 + U P 決定 選択 – DOWN 1 2 3 チャンネル〉 6 5 4 3 (-) ミモータ リセット」を選び、(**)を押す 各種設定が、工場出荷状態になります。 +7 8 9 音量、 モニタ 設 定 12 ビデオ3 設 定 メニュー 戻る 10/0 11 — UΡ + 受信 状況表示 _ DOWN (モニタ リセット) 決定 選択 - 設定 + 決定 <u> Х—</u>_ <u>+</u>() 4 設定終了後、 🗁 を2度押して終了する ※ ~ を1度押すたびに前画面に戻ります。 設定にはこのボタンを使用します。

外部機器の接続



いろいろな使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・44
外部機器とビデオコントローラの接続方法46
外部機器の再生映像などを見る47
ゲーム機などの外部機器をテレビ本体に
直接つないで見る48

いろいろな使いかた

接続システム例

送信機は、本機のテレビ本体にワイヤレス伝送で映像や音声を出力します。 また、お手持ちのメインテレビと送信機をAVケーブルで接続することができるので、いろいろな使いかたができます。

● 書斎や勉強部屋、キッチンなどに置いて手軽に見る個人用テレビとしてお使いいただけます。



● 1人は2階のテレビ本体で、また、1人はお手持ちのテレビで、送信機のビデオ入力1にAVケーブルで接続したビデオデッキや DVDプレーヤーの映像を見ることができます。



●送信機を使わずに、テレビ本体のビデオ入力3端子とゲーム機などをAVケーブルで直接接続し、楽しむことができます。 テレビ本体側の設定方法は「テレビ本体のビデオ入力3端子を使う」(38ページ)を参照してください。





ご注意 🗕

外部機器の取扱説明書も合わせて、参照してください。

外部機器とビデオコントローラの接続方法

- ●ビデオコントローラを使うと、お手持ちのビデオデッキとビデオデッキのリモコンが離れたところにあっても、テレビ本体に向かってリモコンを操作すれば、テレビ本体と送信機を経由してビデオデッキの操作ができます。
- 付属のビデオコントローラと送信機を使用することにより、ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの外部機器を1台まで接続して 操作することができます。送信機は、テレビ本体または外部機器のアンテナ入力端子からできるだけ離してお使いください。



送信機背面

ご注意 ———

ビデオコントローラの取り付けの際のご注意

リモコン受光部の位置は、ビデオデッキやDVDプレーヤーのメーカ
 ーや機種によって異なります。

一般的には液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。

- ビデオコントローラの発光部がビデオデッキやDVDプレーヤーのリモコン受光部に確実に向いていることを確認してください。
- ビデオコントローラを取り付けるときは、ビデオデッキやDVDプレーヤーの電源をオンにできる位置を探し、その位置に固定してください。

ご参考 🗕

S端子について

 ・送信機のビデオ入力1で映像入力とS映像入力を同時に接続した ときは、S映像入力が優先されます。

ビデオコントローラについて

・視聴したい機器の映像・音声出力と送信機の映像・音声入力端
 子を接続します。

その後、接続した機器を受信機内蔵のテレビ側から操作できるように、ビデオコントローラを送信機のビデオコントロール端子に接 続します。

 ビデオコントローラを取り付けるときは、送信部が視聴したい機器の リモコン受光部に確実に向いていることを確認してください。送信 機に接続した機器のリモコンを、テレビ本体のリモコン受光部に向 けボタンを押すことで、接続機器を操作することができます。

外部機器の再生映像などを見る

● 外部機器の再生映像などを見るときは、テレビのリモコンで入力を切り替え、外部機器のリモコンで再生、 選局などの操作をします。





ご参考 =

外部機器は、付属のビデオコントローラを使うことにより、それぞれのリモコンによって、テレビ本体を見ながら操作することができます。ビデオコントローラの接続方法については、「外部機器とビデオコントローラの接続方法」(46ページ)をご参照ください。



ゲーム機などの外部機器をテレビ本体に直接つないで見る

● ゲーム機のモニターとして使用する場合や、電波の届きにくい場所でビデオやDVDを見る場合は、テレビ本体の背面ビデオ入力3 端子に外部機器を直接接続します。送信機に接続すると、リアルタイムの映像表示ができないので、ゲームを快適に楽しむことが できません。

〔接続のしかた〕

〔操作のしかた〕 外部機器とAVケーブルで直接接続します。 テレビ本体の電源を入れる ゲーム機などの 2 (協)で、テレビを選ぶ AV出力端子へ 3 メインメニューで「6 モニタ設定」を選び、 さらに「ビデオ3設定」で「ビデオ3入力」 を選ぶ 設定のしかたは、38ページの「テレビ本 体のビデオ入力3端子を使う|を参照して ください。 赤-音声右 E 白-音声左 黄-映像 U $\bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc$ 音声(右) 音声(左) 映像 Vs 00<u>0</u>0e ビデオ入力3端子 ଭ A A 電源入力端子

ご参考 🗕

AVケーブルを接続するときは、後部キャップを外し、キャップの中をAVケーブルを通してから接続してください。後部キャップの外しかたは 「後部キャップの取り外し、取り付けかた」(25ページ)を参照してください。

ヘッドホン端子

その他



故障かな?と思ったら
メンテナンスについて
保証とアフターサービス
お客様ご相談窓口のご案内
主な仕様 ・・・・・56

故障かな?と思ったら

●次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼される前に、もう一度お確かめください。なお、アフターサービスに ついては54ページをご覧ください。

■テレビ本体側

こんなとき	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない	• ACアダプターがコンセントから抜けていませんか?	24
\bigcirc	• 放送局以外の電波を受信していることが考えられます。	26、29
	•入力モードがテレビモード以外になっていませんか?	37
	• テレビ本体の電源は入っていますか?	20
	•送信機の電源は入っていますか?	20
	 テレビ本体の電源ランプがオレンジで点滅していませんか? 	16
	テレビ本体内の温度上昇のため、自動で電源が切れている場合が	
	ありますので、しばらく時間をおいてから、ふたたび電源を入れて	
	ください。	
映像が出ない	•明るさは正しく調整されていますか?	39
ビデオ出力1の映像が出ない	 送信機側のAVケーブルが、外部機器と正しく接続されていますか? 	45
N	• テレビ本体用ACアダプターと送信機用ACアダプターを	24
	間違って取り付けていませんか?	
音声が出ない	• 音量調整が最小になっていませんか?	41
\bigcirc	・ミュート(消音)になっていませんか?	41
	 ヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか? 	41
映像も音声も出ないで	•アンテナケーブルが抜けていませんか?	23
ノイズしか出ない		
映りが悪い	• 電波状態が悪いことが考えられます。	26、27
	• 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか?	39

こんなとき	ここをお確かめください	参照ページ
色あいが悪い、色が薄い	•色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか?	39
 画面が暗い	•明るさは正しく調整されていますか?	39
映像が明るすぎる 映像調整ができない	•明るさは正しく調整されていますか?	39
 映像にブロック状のノイズが出る	 本機の使用する電波は、高い周波数を使用しているため、 	13
音声が途切れる	光と同じように直進、反射、屈折、回折、干渉等の性質をもっています。 そのため、場所により電波の強弱が起こり、映像・音声が不鮮明に なったり、揺れたり、止まったりすることがあります。)
	 ・送信機とテレビ本体の距離が離れ過ぎていませんか?< 電波の届く範囲内でご使用ください。 	13
	• 電気雑音の発生しやすいところで使用していませんか?	13
	• 「通信距離設定」を「遠い」にします。	27
突然、映像が止まり、音声が 途切れるようになった	•近くで同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器である、 Bluetooth、無線LAN、また、電子レンジなどの機器が作動して いませんか?テレビの電源を一度切り、再び電源を入れてみて ください。	13
映像と音声が受信できない	•障害物と反射物の影響で電波状態の良い位置と悪い位置があります。 テレビ本体の場所を、少し動かしてみてください。	26
リモコンが動作しない	• リモコンの電池寿命が考えられます。	22
	 ・蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていませんか? 	22
	•テレビ本体と送信機が離れすぎていませんか?	26
テレビ本体に向けて外部機器	•ビデオコントローラが接続されていますか?	46
のリモコンを操作しても、接続 しているビデオが動作しない	 ビデオコントローラ発光部が外部機器のリモコン受光部に向いて いますか? 	46
	 外部機器に向けて直接リモコンを操作しても動作しませんか? (動作しない場合は電池切れが考えられます) 	47

このような時も故障ではありません

●テレビからときどき "ピシッ" と音がする

湿度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

■アンテナ側



お確かめの結果、それでも異常があるときは、タカラ±0 AV修理・技術センター(55ページ)までご連絡ください。

メンテナンスについて

液晶テレビ画面のお手入れのしかた

- 画面によごれがついた場合
 - 1 市販のメガネ拭きやOA機器清掃用の手ざわりの柔らかい乾 いた布またはティッシュペーパーなどで軽く拭きとってください。
 - 2 乾拭きしてもよごれが残っている場合、水で薄めた中性洗剤 にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げて ください。
- 画面にほこりがついた場合は、市販の柔らかい刷毛などでほこり を取ってください。
- 画面の保護のため、ほこりのついた布や湿った布、または化学ぞうきんなどで拭きとらないでください。
- お手入れの際は、本機の電源スイッチを必ず切ってコンセントから電源プラグを抜いて行ってください。





蛍光管について

本機に使用している蛍光管(バックライト)には、寿命があります。

● 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、タカラ±0 AV修理・技術センター(55ページ)にお問い合わせください。
 寿命の目安…約60,000時間

ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。 この場合、テレビ本体の電源スイッチをいったんオフにして、再度電源をオンにして確認してください。

保証とアフターサービスょくお読みください

保証書(別添)

● 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入についてお確か めのうえ、受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの 後、大切に保存してください。

● 保証期間

お買い上げの日から1年間です。(消耗部品は除く) 保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよく お読みください。 ご不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、タカラ±0 AV修 理・技術センター(55ページ)にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り
 後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な 部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

●「故障かな?と思ったら」(50ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、タカラ±0 AV修理・技術センター(55ページ)にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- •品 名:8インチ液晶カラーテレビ
- •形 名:XVT-M020
- •お買い上げ日(年月日)
- ・故障の状況 (できるだけくわしく)
- •ご 住 所 (付近の目印も合わせてお知らせください)
- •お 名 前
- •電話番号
- •ご訪問希望日

 便利メモ
 ^{お客様へ} お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

 お買い上げ日
 販売店名

年月日電話()

保証期間中のときは

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定 に従ってタカラ**±0** AV修理・技術センターが修理させてい ただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代:修理に使用した部品代金です。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金 です。



お客様ご相談窓口のご案内

お客様ご相談窓口のご案内



携帯電話/PHSでのご利用は…022-288-4147



住所 〒125-0062 東京都葛飾区青戸3-39-6

主な仕様

■テレビ本体

品名	8インチ液晶テレビ(AVデジタルワイヤレスシステム内蔵)	
型名	XVT-M020	
液晶パネル	TFTアクティブマトリクス	
画素	640×480(1画素=R+B+G ドット)	
有効表示範囲	162.2(横)×121.7(縦)mm	
視野角	水平 左右 65度(標準値)	
	垂直 上 65度(標準値)	
	下 55度(標準値)	
使用光源	内部光(蛍光管内蔵)	
ボタン他	上側面 :電源スイッチ、入力切替、音量、CH(チャンネル)	
	前面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	電源LED オン:緑、スタンバイ状態:オレンジ、オフ:消灯、	
	緑点滅:ONタイマー設定時、オレンジ点滅:テレビ本体内の温度	
	が上昇し、自動で電 源がオフになった時	
	ビデオ入力1系統1端子、ヘッドホン出力端子、電源入力端子	
DC電源	DC12V	
使用電源	AC100V・50/60Hz(付属ACアダプター使用時)	
消費電力	AC100V 33W	
	DC12V 29W	
スピーカー	28.5(縦)×40.0(横)mm 2個	
音声出力	0.7W+0.7W	
伝送方式	スペクトラム拡散方式無線伝送(IEEE802.11b準拠)	
搬送周波数带	2.4GHz带	
対応ビデオ信号	NTSC:コンポジットビデオ	
受信フォーマット	MPEG-2	
外形寸法	幅214×奥行170×高さ173 mm(突起部を含まず)	
質量	1.25kg	

•液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けで常時点 灯するものもありますが故障ではありません。

■送信機

受信チャンネル	テレビVHF 1~12ch、UHF 13~62ch、CATV13~38ch	
選局方式	PLL同調方式	
ボタン他	前面 : 電源スイッチ、電源LED オン : 点灯 (緑)、オフ : 消灯	
接続端子	ビデオ入力2系統2端子(ビデオ入力1はS優先)、ビデオ出力1系統1端子、 ビデオコントロール端子、アンテナ入力端子、電源入力端子	
電源	DC12V	
使用電源	AC100V・50/60Hz(付属ACアダプター使用時)	
消費電力	AC100V 13W DC12V 10W	
伝送方式	スペクトラム拡散方式無線伝送(IEEE802.11b準拠)	
搬送周波数带	2.4GHz帯	
対応ビデオ信号	NTSC:コンポジットビデオ、S映像	
受信フォーマット	MPEG-2	
外形寸法	幅230×奥行115×高さ40mm(突起部を含まず)	
質量	620g	

■付属品

付属品	ワイヤレスリモコン(1個)、ワイヤレスリモコン内蔵用ボタン電池CR2025(1個)、
	ビデオコントローラ(1個)、アンテナケーブル(1本)、テレビ本体用ACアダプター
	(AC100V、50/60Hz)(1セット)、送信機用ACアダプター(AC100V、
	50/60Hz)(1個)、取扱説明書(1冊)、保証書(1部)

• 仕様の一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

±0

English



Part Names (TV Set) ······60
Part Names (Transmitter) · · · · · · · · · · · · · · · 62
Part Names (Remote Control) · · · · · · · · · · · · 63
Basic Operations · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Connecting the Power · · · · · · · · · · · · · · · · · 66
Setting the Transmission Distance

English

Part Names (TV Set)



*To operate the power button of the remote control on/off, the TV power must be turned on.



* Numbers in 👩 indicate the main pages where the corresponding item is described in this manual.

Back view



* Numbers in indicate the main pages where the corresponding item is described in this manual.

Note _____

The rear cap is attached to the TV set when shipped from the factory. Remove it before connecting the power cable. Refer to "Removing/attaching the rear cap" (page 67).

Part Names (Transmitter)

Front view



Part Names (Remote Control)



* Numbers in 👩 indicate the main pages where the corresponding item is described in this manual.

The power of the transmitter cannot be turned on/off by operating the power button of the remote control or the main unit.

To operate the power button of the remote control on/off, the TV power must be turned on.

The input select button, channel select buttons, volume control buttons, and the power button can be operated also on the main unit.

* In this instruction manual, the operations are mainly explained, taking the operations with remote control as an example.

Basic Operations





4

Watching a video or DVD

• Press the input select button.



* If the channel is switched to the Video 3, refer to the "Using the Video Input 3 Terminal on the TV Set" on page 38.

CATV Channel Reception

- CATV channels can be received only in areas where CATV broadcast services are available.
- To receive CATV channels, you need to sign up with your local CATV service provider for subscription. To watch (and record) charged, scrambled broadcast programs, you need to connect a home terminal adapter to the TV set. For further details, consult with your local CATV service provider.
- The selectable CATV channels are C13 through C38 in XVT-M020.

Connecting the Power

• AC adaptor for the main unit and AC adaptor for the transmitter

Confirm that the AC adapter corresponds to the transmitter/TV set when plugging it to the respective input connector.

TV set



- The AC adaptor for TV set cannot be plugged into the TV set power input of the TV set if the rear cap is attached. Refer to page 66 for how to remove/attach the rear cap.
- The TV set may become warm if the power is turned on. However, this is not a malfunction.
 - AC adaptor for transmittor
 - Transmitter

• Although the AC adapters may become warm during use, this is not a malfunction.

▲Caution =

- Do not wrap the AC adaptor nor cover it up with a textile or the likes. This can cause a malfunction or accident.
- Do not attempt to disassemble or modify the AC adapters. Doing so can result in the electrical shock due to the high-voltage components contained inside of the AC adaptor.
- Do not wrap the AC adaptor nor cover it up with a textile or the likes. This can cause a malfunction or accident.
- Do not attempt to disassemble or modify the AC adapters. Doing so can result in the electrical shock due to the high-voltage components contained inside of the AC adaptor.

Removing/attaching the Rear Cap



Remove the rear cap by rotating it counterclockwise.



3

Before attaching the rear cap to the TV set, pass the power cable and the cables of external equipment such as video game machines and the likes through the hole of the rear cap.

Note =

If the rear cap is attached to the TV set, cables cannot be connected.

Connect the cables that are passed through the rear cap to the TV set. (See page 17.)



Attach the rear cap to the connector on the rear of the TV set.



Rotate the rear cap clockwise to tighten it until the clicking sound is heard.

* Make sure to attach the rear cap in such a manner that the logo mark "±0" on the rear cap faces upward.

Note _____

• Do not use the TV set when the rear cap is removed.



Setting the Transmission Distance

This product uses radio transmission that enables you to watch TV programs or videos on the TV set without connecting it to other devices with cables. Therefore the distance between the transmitter and the TV set effects on the reception. Install the transmitter and the TV set without anything between them preferably, and select the distance setting from [遠い], [標準], and [近い] according to the transmission distance.

Remote Control



Use these buttons to set the transmission distance.



Press the 🔄 on the remote control to display the main menu screen.



Select [4 通信距離] with (一)来+) and then press (**).

```
メイン メニュー

1 映像調整 (<u>4 通信距離</u>)

2 音声切替 5 C H 設定

3 タイマー 6 モニタ設定

メニュー 終了 + U P

決定 選択 - DOWN
```



Select one from [遠い], [標準] and [近い] with (-) (+) and then press (**).

通信距離 遠い (標準) 近い	メニュー + - 決 定	戻 る U P DOWN 選 択

• 遠い(far):

As further the distance between the transmitter and the TV monitor get, the more unstable the reception may become. Set this for such a case.

- •標準(standatd): Set this normally for a basic.
- 近い(near): It provides higherquality images than usual when the distance between the transmitter and the TV monitor is close.



Exit the main menu screen by pressing

* The screen returns to the previous one each time when 💬 is pressed.



http://www.plusminuszero.jp

©TAKARA CO.,LTD.2004